

税

に関するお知らせ

■平成27年度の市税の納期

税目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
軽自動車税			全期										
固定資産税				1期		2期				3期		4期	
市県民税				1期		2期		3期			4期		
国民健康保険税					1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	

問い合わせ 市税務課市民税担当 (☎68-9072)、同課
資産税担当 (☎68-9073)、同課収納担当 (☎68-9074)

■市税の納期

平成27年度の市税の納期は上の表の通りです。

■固定資産税・第1期の納期

固定資産税の第1期の納期限は6月30日(火)です。納税通知書は6月上旬に発送します。

■固定資産各種証明書の発行

平成27年度の価格決定は5月末日になります。27年度の証明書の発行は、6月1日(月)からです。

■固定資産税の縦覧閲覧期間

縦覧閲覧期間は、6月1日(月)～30日(火)です。

閲覧の希望者には「平成27年度固定資産名寄帳兼課税調書」を無料で発行しますので、期間内に申請してください。

◎東日本大震災による固定資産税の特例

震災により住宅が被災した場合など、次の①②の通り固定資産税の特例があります。ただしこれらの適用には申告が必要ですので、詳しくは下記まで問い合わせください。

①新たに土地を取得したが、住宅用の建物が建築予定、または年内未完成の場合

【被災代替住宅用地の特例(土地の課税標準の特例)】

被災した住宅用地の所有者などが、その用地に代わる土地(被災代替土地)を平成33年3月31日までの間に取得した場合、被災代替土地のうち、被災した住宅用地に相当する分については住宅用地とみなし、取得後に固定資産税が課税されることとなった年度から3年度分については、課税標準額が200平方メートルまでは6分の1、それを超える分は3分の1となります。

②新たに家屋を取得した場合

【被災代替家屋の特例(家屋の減額特例)】

震災により滅失もしくは損壊した家屋(被災家屋)の所有者などが、被災家屋に代わる家屋(被災代替家屋)を平成33年3月31日までの間に取得した場合、被災代替家屋のうち被災家屋の床面積相当分に係る税額について、取得の翌年から4年度分は2分の1に減額、その後の2年度分は3分の1に相当する額が減額となります。

■問い合わせ 市税務課資産税担当 (☎68-9073)

基本計画がまとまりました

宮古市中心市街地拠点施設整備事業について、平成26年11月に策定した「基本構想」（広報1月1日号）を基に検討した結果、「基本計画」がまとまりましたので、主な内容をお知らせします。

27年度は、この基本計画を基に施設の設計に着手します。これからは、市民の参画と協働および情報の開示をしながら検討を進め、事業の進み具合については、広報などでお知らせします。

※詳しくは市復興推進課、各総合事務所、各出張所、市立図書館に計画書を備え置くほか、市ホームページでも閲覧できます（下のQRコードから閲覧可）。



問い合わせ 市復興推進課市街地施設推進室（☎9089）

皆さんのご意見を伺いました

◆市民説明会を開催

「基本計画（案）」について、2



月16日から27日まで、市内8会場で説明会を開催し、合計111人の参加をいただきました。

◆パブリックコメントを実施

「基本計画（案）」について、2月15日から3月6日までご意見を募集し、16通（21件）のご意見をいただきました（回答内容は、市ホームページに掲載しています）。

施設（各室）や自由通路についてのご要望、計画地周辺の道路環境や洪水などの災害時の対応、市の財政状況や整備時期についてのご意見などが寄せられました。

特に多く寄せられた「市の財政への影響」について掲載します。

問：事業費が巨額で将来の財政運営が心配です。この時期に整備しても大丈夫ですか？

答：市本庁舎の整備には、国や県からの補助制度がなく、本来は全事業費を市で賄う必要があります。本事業では市本庁舎の建設費や用地の取得費の一部に「合併特例債」を活用予定ですが、この場合返済期間の30年間の負担が毎年約7800万円と試算しています。しかし「合併特例債」を使わず、通常の「一般単独事業債」とした場合、負担額が毎年2億2300万円に増えることとなります。**【表1参照】**

以上の理由で、「市本庁舎」は、復興交付金や災害復旧費を活用して整備する予定の「防災・地域活力創出拠点施設」「宮古保健センター」と同時期に整備を完了することが有利だと考えます。

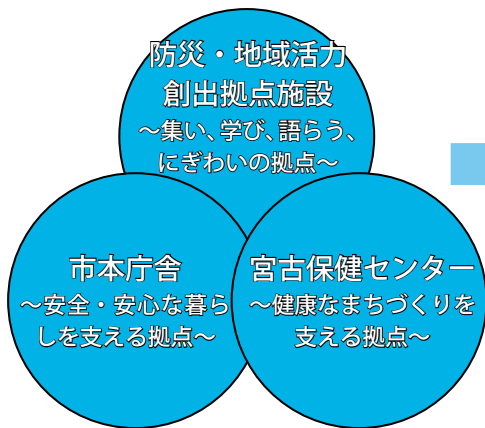
【表1】市本庁舎整備に係る負担額の試算比較表

借入期間：30年 元金償還の据置期間：5年 起債の利率＝2 <small>優</small>	①合併特例債を活用する場合	②一般単独事業債を活用する場合
事業費（市本庁舎）	53億円	53億円
資金借入後の総負担額	71億8200万円	67億400万円
市の実質の負担額（a） ※国の地方交付税の優遇措置	23億4000万円 ※措置あり	67億400万円 ※措置なし
市の毎年度の実質負担額 ＝（a）÷30年	7800万円	2億2300万円

基本計画の位置づけ

本年度に基本設計を完了し、実施設計（建設工事までの一括発注）に着手し、29年度の完成、30年度の供用開始を目指します。

①基本構想 ↓ ②基本計画 ↓ ③建物



～市民が主役となるまち～

- 地域防災力の向上
自助・共助・公助の連携・一体化の促進
- 相乗効果の創出
市民の利便性の向上
- 参画と協働の推進
市民の活動拠点づくりと「新しい公共空間」の創造

設計↓④建設工事↓⑤完成・供用開始
【上位計画・関連計画】宮古市総合計画、新市建設計画、新市基本計画、東日本大震災復興計画など

図1 地域防災拠点施設の整備方針



◆整備方針
各施設（機能）間の連携により、参画と協働を進め「市民が主役となるまち」を目指します。拠点施設が「まちの顔」として広く親しまれ、市民や本市を訪れる人々の交流の輪がまちに広がるよう「市庁舎跡地の利活用」や「宮古駅の南北を結ぶ自由通路（避難通路）の整備」などにより、まちなかの回遊やにぎわいの創出を図り、中心市街地の活性化に寄与する施設を整備します。【上図1参照】

◆市庁舎跡地の利活用
本庁舎や分庁舎の跡地について

施設整備の基本的な考え方

◆建物規模
将来の想定職員数や議員数などの精査を行い、本庁舎の面積を1万平方メートルから9千平方メートルに見直しています。【下表2参照】
また駐車場・駐輪場は、現在の設置状況や利用状況などを踏まえ、必要と考えられる駐車台数を算定します。【下表3参照】

では、平成26年11月に立ち上げた「まちづくり市民会議」（市民ワークショップ）を継続開催するなどして、方向性をまとめたいきます。

◆宮古駅の南北を結ぶ自由通路（避難通路）の整備
自由通路は周辺に人の行き来とにぎわいを作り出し、災害時は避難通路として利用することを想定して整備します。

次の条件を基本として検討します。

- ①歩行者用通路、エレベーターの設置
- ②幅員4メートル程度

◆市民に親しまれる公共施設とするために
新しい建物や宮古駅の南北を結ぶ自由通路について、広く愛称を募集します。

【表3】 駐車場・駐輪場の整備数

	現況	整備数
駐車場	175台	180台
駐輪場	72 <small>床</small> (120台)	72 <small>床</small> (120台)

【表2】 各施設の規模

(単位：平方メートル)

施設（機能）名	基本構想	基本計画
	防災・地域活力創出拠点施設	4,410
市庁舎（本庁舎）	10,000	9,000
宮古保健センター	950	950
合計	15,360	14,350

※4ページに続く

◆施設配置

自由通路からのアクセス性に優れ、歩行者や車両の動線も明確に分離できるように、施設を敷地の中央より西側に、メインの駐車場を東側に配置することを基本として設計を行います。駐車場は災害時の対応などにも配慮します。また敷地の中央に広場を配置し、にぎわいを創出します。【左図2・3参照】

◆施設構成

行政機能と交流機能を一棟に集約する「合築方式」と「分棟方式」を比較した結果、来訪者の利便性や災害時の機能分担などの面で有利と想定される「分棟方式」を中心に検討します。設計時に建設コストの検証など、詳しく分析し決定します。

◆耐震性能・耐震方式

耐震性能に関する国や市の基準に基づき、災害時に人命の安

全確保と機能確保を図ります。

また「耐震」「制震」「免震」の耐震方式（構造）にはそれぞれ長所や短所がありますので、設計時に階数や仕様を確定したうえで、費用対効果を検証して選定します。

事業計画

◆概算事業費

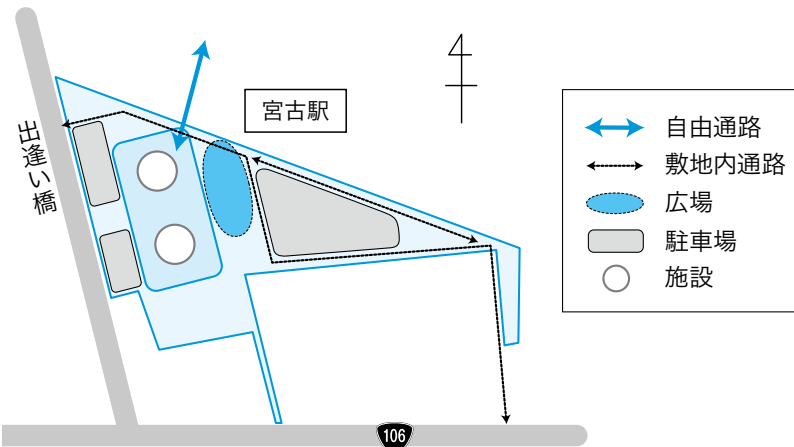
他自治体の事例を基に、建設物価の上昇、消費税の10割への引き上げ、東京オリンピック関連事業の増大、復興事業などの影響を考慮し、建設単価は最大で「50万円/平方メートル」とし、施設建設費を約72億円と想定します。その他の費用を加えて概算事業費は約112億円と試算します。【右下表4参照】

◆整備財源

復興交付金、災害復旧費、合併特例債、緊急防災・減災事業債などを想定し、それぞれの財源を活用できる期限内に整備を完了することにより、一般財源の抑制を図ります。【左表5参照】



【図2】自由通路（避難通路）の整備イメージ



【図3】配置イメージ

【表4】事業費の内訳

種別	金額(億円)
施設建設費	71.8
設計費、備品消耗品費、外構工事費など	18.8
用地費、造成費など	13.4
自由通路（避難経路）の整備費	8.0
合計	112.0

○用語説明

・緊急防災・減災事業債Ⅱ東日本大震災を教訓として緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災・減災対策に必要な経費に対して充てることができる地方債（借金）です。事業費の100割に充てられ、元利償還金の70割が地方交付税の対象となります。

・震災復興特別交付税Ⅱ復旧・復興に向けた被災地の地方負担分について、起債（借金）ではなく地方交付税の加算により措置されます。

※「復興交付金、災害復旧費、合併特例債」の用語説明は、広報平成26年8月15日号をご覧ください

【表5】財源の内訳

財源の内訳		金額 (億円)	主な整備内容
国の支援が見込まれるもの	復興交付金	30.6	防災・地域活力創出拠点など
	災害復旧費	2.4	保健センター
	合併特例債	50.4	市本庁舎
	緊急防災・減災事業債	8.0	自由通路（避難通路）
	震災復興特別交付税	12.6	
市が負担するもの	一般財源	8.0	
合計		112.0	

今後の課題

◆洪水対策

「宮古市総合防災ハザードマップ」（平成20年3月全戸配布）では、計画区域一帯が2.5から5.5メートルの浸水が想定されています。

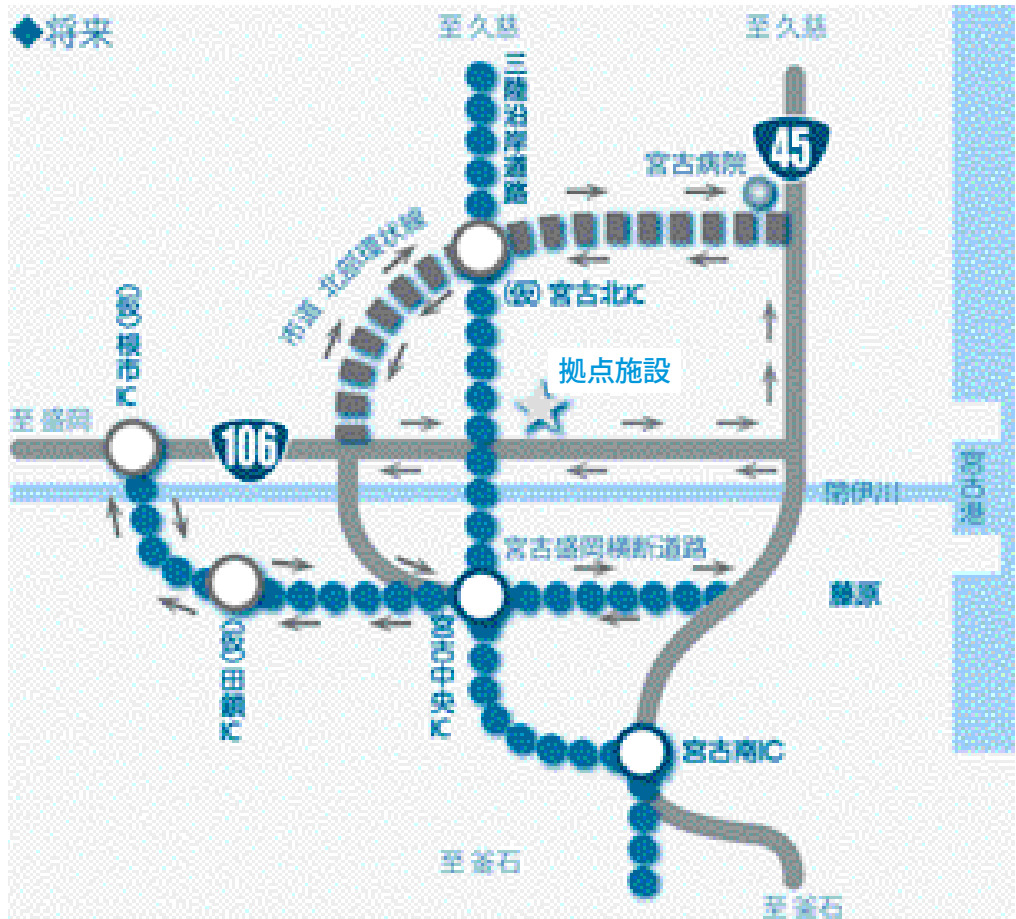
「洪水シミュレーションの諸元」や「堤防や用地の標高」、「過去の被害状況（アイオン台風）」

などを基にすると、計画区域の浸水は最大で1.5メートル程度と推定できます。一方、県が所管する閉伊川水系の河川については「閉伊川水系河川整備計画」に基づき、計画的に整備が進められています。このことにより、これからは市街地の浸水のおそれが解消されていく見通しです。

◆交通対策

周辺の交通渋滞を心配する声

現在、地盤の状況や、河川の整備状況を考慮した推定浸水深を定め、費用対効果を考えながら、実現性のある対策を検討します。（対策例Ⅱ地盤のかさ上げや建物基礎の立ち上げ）。また万が一の浸水時のほか、災害時を想定した業務継続計画と復旧計画により、災害対策の拠点として施設の機能を確保します。



【図5】交通対策のイメージ図

が寄せられています。国道106号の交通量は「北部環状線」と「宮古西道路」の整備により、将来的には減少すると予想されます。市街地の交通の円滑化が見込まれます。今後もこれら道路の早期整備について関係機関に働き

かけていきます。【右図5参照】また、八幡沖踏切やその前後の市道の改良により、施設へのアクセス性の向上が見込まれることから、これらの整備について引き続き検討を進めていきます。

「医療給付」について紹介します

市は、市内に住所を有する乳幼児、小中学生、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭、寡婦の人に対し、医療費の全額または一部を給付する制度を実施しています。

問い合わせ 市総合窓口課医療給付担当(市役所1階、☎9076)

■申請方法 保険証、振込先に指定する通帳、印鑑(認め印可)を持参し、総合窓口課医療給付担当までお越しください。
※寡婦の所得要件で非該当となる人も申請してください。来年度以降の所得判定

の結果、該当する場合は受給者証をお送りします
※「妊産婦」の申請の際は母子健康手帳、「重度心身障害者」の申請の際は障害の程度が分かる書類も持参してください

対象者	資格要件	所得要件
乳幼児・小中学生	出生から中学校卒業(15歳になった後の最初の3月31日)までの人 ※中学生は平成27年4月診療分から対象	なし
妊産婦	妊娠5カ月目になる月の初日から、出産の翌月末までの人	なし
重度心身障害者	○身体障害者手帳1級・2級の人 ○障害基礎年金1級の人 ○特別障害給付金1級の人 ○特別児童扶養手当1級の人 ○療育手帳A判定の人	なし
ひとり親家庭など	○死別、離別などによるひとり親家庭で、18歳未満(※)の子を扶養している親とその子 ○死別などにより両親のいない18歳未満(※)の子	なし
寡婦	○70歳になる月までの、配偶者のない女性で、かつて母子家庭として18歳未満(※)の子を扶養していた人 ○70歳になる月までの、配偶者のない女性で、現に18歳以上20歳未満の子を扶養している人	○本人が住民税非課税 ○世帯員が住民税非課税または住民税均等割のみ課税

※18歳未満=18歳になった後の最初の3月31日まで対象

ゴールデンウィーク期間中の ごみ収集について

ゴールデンウィーク期間中のごみの収集は、**田老・新里・川井地域は通常どおり収集します。宮古地域は右の表の通りです。**

ごみは、収集日の朝8時までに決められた集積場に出してください。

小山田のごみ処理場は、日曜日を除き毎日稼働していますが、ゴールデンウィーク期間は混雑が予想されますので、時間に余裕を持って搬入してください。

■問い合わせ 【収集】市環境課きれいなまち推進室(☎64-6488)、【搬入】宮古地区広域行政組合施設課(☎64-7111)

○=通常の収集 X=休み

種別	4月				5月					
	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
燃やせるごみ	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○
燃やせないごみ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
プラスチック製容器包装	○	○	△	△	○	△	△	X	X	○
資源物	○	○	△	△	○	△	△	X	X	X

※プラスチック製容器包装=4月29日(水)・30日(木)の収集は、第5週のためありません。5月4日(月)・5日(火)は休み、6日(水)は収集します

※資源物=4月29日(水)・30日(木)の収集は、第5週のためありません。5月4日(月)~6日(水)の収集は休みます

住宅用太陽光発電システム 設置費用を補助

市は、環境負荷の少ない持続可能な地域社会の実現と地球温暖化防止を推進するため、住宅用太陽光発電システムの設置費用を補助します。

申請先・問い合わせ 市環境課環境保全担当（市役所3階、☎9078）

住宅用太陽光発電システムを設置する次の条件を満たす人を対象に、設置費用の一部を補助します。なお補助を受けた場合、設置後1年間、月ごとの発電量、売電量、買電量の報告が必要です。

■補助の対象 次の①～⑨の全ての要件を満たす人。

- ① 工事着工前の申請であること。
- ② 居住する、市内の住宅への設置であること。
- ③ 市税を滞納していないこと。
- ④ 発電された余剰電力は電力会社に売電すること。
- ⑤ 太陽電池の最大出力が10キロワット未満であること。
- ⑥ システム価格が1キロワット当たり60万円以下（税別）であること。
- ⑦ 未使用のシステムであること。
- ⑧ 県内に本店、支店、営業所などを有する販売店や施工業者が施工すること。
- ⑨ 平成28年3月31日までに工事を完了し、実績報告書を提出できること。

■補助金の額 1キロワット当たり5万円（千

円未満切り捨て、上限20万円）

■補助金の交付 工事を完了し実績報告書を市に提出した後、に交付

被災者に対する補助金の再交付

平成27年5月1日から次の条件により、補助金の再交付を行います。

■対象 すでに補助金の交付を受けて設置した発電システムが、震災による直接の被災が原因で破損し、修理不能となり、それに代わる発電システムを新たに設置する人。

■補助金の遡^{さかのぼ}り交付 再交付の条件を満たす人が4月30日までに工事着手または完了した場合は、補助金をさかのぼって交付します。

●宮古市製品開発高付加価値化事業補助金の募集

市内で生産または水揚げされた農林水産物の加工製品開発・改良を行い、市が主催する加工品コンクールに出品をする市内の企業・事業者を対象に、事業経費の5分の4を補助します。（上限額20万円）

■対象者 市内に主たる製造事業所のある企業、事業者、一次産業の生産者および生産団体

■対象事業 次のいずれかに該当する事業。①市内で生産または水揚げされる農林水産物が主原料となる加工商品の新商品開発をする事業。②市内で生産または水揚げされる農林水産物が主原料となる既存加工商品を改良し新たな商品を開発する事業

■補助金申請の要件 次の全てを満たすこと。①新商品を開発する事業であること。既存加工商品の主原料を市内で生産または水揚げされる農林水産物に切り替える場合は、主原料だけでなくその他の点の改良も条件となります。※味つけの変更やシリーズ化などが対象。パッケージングのみは不可 ②主原料となる農林水産物は、地元原材料を使用したものであること。使用される原材料の主原料は地元原材料

（市内で生産または水揚げされる農林水産物）であることが条件となります。③事業により開発した新商品は、市主催の加工品コンクール（1月予定）、商談会（予定）に出展すること。④開発した商品を納品先に紹介するための取引条件シート、商品仕様書を作成し提出すること。※作成には講師が指導予定

■募集期間 7月31日（金）

●応援します！地域の産業「宮古市展示会等出展者支援補助金」の募集

■対象者 販路拡大のために、市外の展示会・商談会・見本市・博覧会に、自社製品などを出展する市内の企業または事業者。※販売を主目的とする催事、展示会などは対象外

■補助額 出展に係る小間料、小間装飾料、出品物運搬料、旅費、宿泊料等の直接経費の2分の1以内の額を支給します。

◇補助金交付限度額＝県外20万円、県内2万円

◇補助金の交付は、同一年度に1回まで

<共通> ■申し込み 市産業支援センター食産業担当（☎68-9067）

浄土ヶ浜まつり

◆期日 4月29日(水)、5月3日(日)～6日(水)
 ◆場所 奥浄土ヶ浜ほか

申し込み・問い合わせ 宮古観光文化交流協会
 (☎) 3534、FAX (☎) 7030

月日	時間	イベント内容
4月29日(水)	9:00～12:00	マリンハウスの手こぎボート無料
	9:30～	霊鏡祭(安全祈願)
	8:40～15:30	「みやこ浄土ヶ浜遊覧船」小学生以下無料
	10:00～12:00	浄土ヶ浜ウオーキング ※ビジターセンター前集合 ※要申し込み(定員30人)
5月3日(日)	10:00～12:00	宮古港開港400周年記念「クルーザーヨット乗船体験」※シートピアなあと発着(無料)
	13:00～14:00	
	10:30～12:00	「友愛の会」歌謡ショー
	12:00～12:30	「うにラーメン」「うにぎり」早食い競争 ※レストハウス前
	11:30～13:30	浄土ヶ浜お茶会 ※レストハウス前
4日(月)	10:30～12:00	浄土ヶ浜芸能まつり
	13:00～14:00	
	12:00～12:30	「小田代直子」歌謡ショー
	12:30～13:00	「金澤未咲」歌謡ショー
5日(火)	10:30～11:30	「妖怪ウォッチ体操」ダンスコンテスト ※要申し込み
	12:30～13:00	「MOPS」ダンスステージ
	13:00～13:30	「M.D.S.」ダンスステージ
6日(水)	11:00～12:30	フィッシングゲーム ※先着20人
3日(日)・4日(月)	10:00～12:00	シーカヤック体験試乗会
	13:00～14:00	※参加費500円(保険料)
3日(日)～5日(火)	10:00～16:00	無料シャトルバス運行 ※シートピアなあと～ビジターセンター。30分に1便
	10:00～15:00	お楽しみ抽選会 ※レストハウス前
	12:00～	「毛ガニ汁」無料お振る舞い ※各日先着100人

※天候によりイベント内容が変更または中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください



昨年の浄土ヶ浜ウオーキングの様子。白木山の桜が見頃でした。

宮古の農業まるごと体験ツアー「田植え体験」

市は、地元農産物の消費拡大・地産地消を推進するために「宮古の農業まるごと体験ツアー」を開催しています。春のツアー「田植え体験」への参加をお待ちしています。

■日時 5月16日(土)午前8時30分 ※荒天時は翌日に延期

■集合場所 JA新しいわて宮古営農経済センター(花輪10-5-1) ※会場へはバスで移動。宮古駅前発の送

迎バスも運行します(宮古駅前8時10分発)

■対象 市民(小学生以下は保護者同伴)

■定員 30人(申し込み多数の場合は抽選)

■参加料 無料

■用意する物 タオル、着替えなど ※素足で田植をしますので、汚れても良い服装で参加ください

■申込期限 5月8日(金)

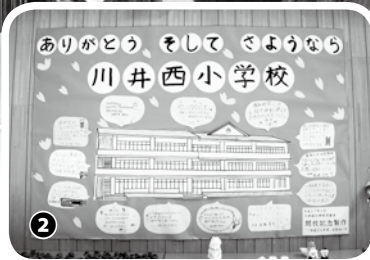
■申し込み 市農林課農政担当(☎68-9094)



photo

④児童による呼びかけ・合唱「ありがとう そして さようなら 川井西小学校」の様子

- ①「お別れの言葉」を述べる児童代表の佐藤美月さん
- ②児童による閉校記念製作



思い出は心の中に一生残していく



川井西小学校校舎外観

川井地域の3つの小学校が3月31日をもって閉校となりました。川井西小学校（三浦秀明校長、児童13人）の閉校式は3月15日に開かれ、最後の児童会長を務めた佐藤美月さん（5年）が『西つ子』として過ごしたこの5年間、いろいろなことがあったが、この学校で学ぶことができて良かった。4月からは川井小学校に通うことになるが、思い出を心の中に一生残していこうと思う」とお別れの言葉を述べました。

川井西小の沿革(抜粋)

- 昭和60年 川井村立川内小学校、同箱石小学校を閉校し、両学区をもって統合。川井村立川井西小学校として開校
- 昭和61年 新校舎落成。校旗制定。西つ子農園(学校農園)設置
- 平成元年 アーラム大学(アメリカ)教育使節団来校
- 平成3年 韓国釜山教育大学付属国民学校児童15名来校。親善交流会実施
- 平成5年 第1回校内マラソン記録会実施
- 平成10年 心生苑訪問始まる。交流・介護体験
- 平成11年 韓国との交流事業10周年記念植樹(ムクゲ10本)
- 平成22年 川井村と宮古市の合併に伴い宮古市立川井西小学校と校名変更。児童用パソコンのインターネット使用開始。
- 平成23年 第1回川井西小、地域合同大運動会。通学道路路標識設置
- 平成25年 子どもの読書活動推進校として文部科学大臣表彰受賞
- 平成25年 宮古市小規模・複式授業研究会会場校
- 平成27年 閉校記念式典・思い出を語る会開催。閉校



photo

④全校児童による呼びかけ「ありがとう・江繫小学校」の様子。合唱「江繫賛歌」「絆」も披露された

①「お別れの言葉」を述べる児童代表の山口望玖さん

②校舎に掲げられた横断幕

しっかりとお別れが言えるように

江繫小学校（小笠原安和校長、児童15人）の閉校式は3月21日
に開かれ、139年の歴史ある学校との別れを惜しみました。児童代表としてお別れの言葉を述べた山口望玖さん（6年）は「全校参加のS&B杯ちびっこ健康マラソン大会で（6年間出場し続け）皆勤賞をもらったことが一番の思い出。江繫小がなくなるのは悲しいけど、しっかりとお別れが言えるように発表しました」と思っていました。



江繫小学校校舎外観

江繫小の沿革（抜粋）

- 明治9年 江繫小学校として開校（道又源藏氏宅で校務）
- 明治16年 公立江繫小学校と改称（熊林岩治氏宅で校務）
- 明治19年 江繫簡易小学校と改称。校舎新築落成
- 明治23年 大洪水のため校舎流失（泉澤庄右衛門氏宅で校務）
- 明治24年 校舎改築
- 大正12年 尻沢分教場設置
- 大正13年 高等科併設。江繫尋常高等小学校と改称
- 大正14年 桐内出張教授所設置
- 昭和12年 大雪のため校舎倒壊（民家で分散授業）
- 昭和15年 校舎新築落成
- 昭和22年 小国村立江繫小学校と改称
- 昭和30年 川井村立江繫小学校と改称
- 昭和45年 尻石・桐内分校閉校。スクールバス運行
- 平成4年 校報「えつなぎ」発行（地域に全戸配布）
- 平成8年 海外派遣研修韓国交流会
- 平成12年 校庭に多目的山「江繫山」造成
- 平成27年 閉校記念式典・思い出を語る会開催。閉校



photo

- ④ 建立された閉校記念碑を前に、先生らと記念写真を撮る児童たち
- ① 「お別れの言葉」を述べる児童代表の三浦亜美さん
- ② 合唱「この地球のどこかで」「明日へつなぐもの」を披露する児童たち



学校中に「ありがとう」があふれた



小国小学校校舎外観

小 国小学校（森保茂校長、児童9人）の閉校式は3月22日に開かれました。児童代表として三浦亜美さん（6年）は「4月の児童会活動で行ったあいさつ運動で、本年度は『おはよう』や『さようなら』ではなく、『ありがとう』という感謝の言葉が学校中にあふれた。たくさんの思い出が詰まった小国小。絶対に忘れません」とお別れの言葉を述べました。

このたび閉校した3校は、4月1日から川井小
学校に統合されました。

昭和39年 校章制定。校旗製作
昭和45年 大仁田分校廃止
昭和46年 新田分校廃止
平成2年 文集やまゆり創刊。
新校舎落成
平成4年 小国・やまゆり森林愛護少年団結団式
平成3年 小国小学校賛歌制定
平成5年 郷土芸能学習開始。体験学習田開設。プール落成
平成6年 韓国釜山教育大学付属国民学校歓迎交流会。第1回小国ふるさと祭り
平成9年 小国やまゆりBFC（少年少女消防クラブ）結成
平成27年 閉校記念式典・思い出を語る会開催。閉校

小国小の沿革（抜粋）
明治9年 中閉伊郡公立小国小学校として開校
明治33年 大仁田分教場を設置
大正13年 高等科設置により小国尋常高等小学校と改称
大正14年 新田私立学校を設置
昭和11年 校訓「至誠」制定
昭和16年 新田私立学校廃止
昭和24年 新田分校を設置
昭和29年 校舎新築落成。校歌制定
昭和39年 校章制定。校旗製作

■市ホームページやフェイスブック、ツイッターなどでも紹介していますので、どうぞご覧ください。※URLは裏表紙をご覧ください

浄土ヶ浜レストハウス・浜処うみねこ亭の「春の大感謝祭」は3月21・22の両日、同レストハウスで開かれました。会場では「毛ガニ祭りリターン！」と銘打って、毛ガニの一本釣りやはさみ捕り、輪投げで毛ガニをゲットするコーナーや毛ガニ汁のお振る舞いなど、毛ガニにちなんださまざまな催しを開催。またレストハウス2階では地元のスィーツやドリンクコーナーも用意され、訪れた人は絶景を堪能しながら飲食を楽しんでいました。

春の大感謝祭

カニと絶景を堪能



「おじいちゃん頑張っ〜！」の応援を受ける中、見事釣り上げました



生き生きと演技を披露する子どもたち。衣装も手づくりです

子ども音楽劇「どんぐりと山猫」は3月29日、市民文化会館で上演されました。本市と近隣市町村の小学生13人が、演出の畠山泉さんの指導のもと宮沢賢治の名作に挑戦。参加した子どもたちは「ほとんど初対面だったけれど、練習を通して仲良くなれた」と充実した時間を振り返っていました。この舞台は「トヨタ・子どもとアーティストの出会いプロジェクト」の協力で開催されました。

笑顔あふれる初舞台 子ども音楽劇「どんぐりと山猫」

うれしいサプライズに ビクターセンター百万人達成

浄土ヶ浜ビクターセンターの入館者数が3月24日、百万人を達成しました。百万人目に訪れたのは、東京大学3年の水野翼さんと橋本晶さん。東北を電車で旅行中に立ち寄ったとのこと。2人は「東北旅行は初めて。百万人目と言われ、びっくりしたけどとてもうれしい。これから浄土ヶ浜を満喫します」と、同センター職員の案内でさつぱ船遊覧などを楽しんでいました。



百万人目の認定書を手にする水野さん（右）と橋本さん（左）

宮古市公式フェイスブックページ 「いいね！」の数が1000人を突破

平成26年4月30日に宮古市公式フェイスブックページを開設しましたが、約10カ月半が経過した3月13日、宮古市ページに「いいね！」していただいている人（読者）の数がついに「1000人」を突破しました！

これも市民の皆さんや、いつも本市を応援してくださっている方々のおかげです。ありがとうございます。

これからも宮古市のホットな話題をお届けしていきますので、引き続きご愛読ください！

まだご覧になったことのない方は、市ホームページ (<http://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/miyakosifacebook.html>) から閲覧できますので、ご利用ください。

■問い合わせ 市企画課広報担当 ☎68-9065



震災直後から復興を推進

名越 一郎副市長退任式

名越 一郎副市長の退任式は3月27日、市役所6階大ホールで行わ



市職員により胴上げされる名越さん（市役所1階で）

れました。

名越さんは、震災直後の平成23年7月に総務省から招へいされ、再生可能エネルギーの推進など本市の復興事業に尽力されました。式で山本正徳市長から「宮古市

に『名越 一郎』の名前はいつまでも刻まれる。指導いただいたことを生かし、復興に向け職員一丸となって全力で取り組む」と感謝の言葉を受けた名越さんは、集まった職員に対し「くれぐれも健康には気を付けて」と気づかいながら「宮古市が復興した姿を見に来ることを楽しみにしています」と激励しました。

4月から総務省に戻る名越さん。3年9カ月間、ありがとうございます。



退任のあいさつをする名越さん

本市の復旧・復興に尽力

派遣職員退任式

本市の復旧・復興のために尽力された派遣職員の退任式は3月25日、市役所6階大ホールで開催されました。3月末現在で、57人の職員派遣を受けていますが、その内23人の職員が今回退任され派遣元に戻りました。

集合写真。皆さま、お疲れさまでした！



生活課被災者支援室で業務に当たった小西さん

式典では、山本正徳市長が職員一人一人に「ありがとうございます」と声を掛けながら辞令書を交付。その後、派遣職員を代表して、大阪府泉南市から派遣され生活課に所属した小西末彦さんが「初めて宮古に来た頃、震災の傷跡が各地に残っており、自然災害の恐ろしさを実感した。3年間、微力ではあるが復興業務の一端を担わせていただき感謝している。派遣元へ戻っても引き続き、宮古市の復興を応援している」と述べました。

山本市長は「皆さんのおかげで復旧・復興が後押しされた。皆さんの働きは本市の復興した姿に刻まれる。派遣元に戻っても本市が復興に進む姿を全国から見守ってほしい」と語りました。

27年度も全国22の自治体などから64人の派遣職員が復興業務などに従事する予定です。

健

康プラザ

宮古保健センター（市民総合体育館駐車場内、☎64-0111）／田老保健センター（☎87-2975）／新里保健センター（☎72-3500）／川井保健センター（☎76-2036）／宮古保健所（☎64-2218）／こども救急相談電話（午後7時～11時、☎019-605-9000、携帯電話からは#8000）

子どもの健康診査・相談日程

対象者には個人通知していますが、まだ受診していない人は、都合の良い日程で受診しましょう。

種類	対象児	期日	受付時間
1歳児 《相談》	平成26年3月生まれ（前半）	4月15日(水)	9:15 ～9:30
	平成26年3月生まれ（後半）	5月13日(水)	
	平成26年4月生まれ（前半）		
1歳6カ月児 (診査)	平成25年9月生まれ（後半） 平成25年10月生まれ（前半）	4月22日(水)	13:00 ～13:15
2歳児 《相談》	平成25年3月生まれ（前半）	4月22日(水)	9:15 ～9:30
3歳児 (診査)	平成24年1月生まれ（前半）	4月15日(水)	13:00 ～13:15
	平成24年1月生まれ（後半）	5月13日(水)	

■場所 宮古保健センター

■用意する物 母子健康手帳、問診票、仕上げみがき用歯ブラシ

■問い合わせ 各保健センター

宮古・新里・川井地域の健康相談日程

血圧測定、尿検査、個別相談のほか、下表の通り測定などを実施します。

■問い合わせ 各保健センター

地域	期日	時間	場所	測定など
宮古	4月20日(月)	13:00～14:00	宮古保健センター	・骨密度測定（※） ・講話「骨粗しょう症予防について」
新里	23日(木)	10:00～11:00	新里保健センター	骨密度測定（※）
川井	21日(火)	10:00～11:30	門馬地域振興センター	骨密度測定（※）
		13:30～15:00	田代集会所	
	23日(木)	10:00～11:30	平津戸集会所	・みそ汁塩分測定（自宅のみそ汁を少量お持ちください） ・講話「減塩について」
		13:30～15:00	区界集会所	
	30日(木)	10:00～11:30	小国地域振興センター	骨密度測定（※）
		13:30～15:00	永田集会所	

（※）素足になれる服装でお越しください

母子健康手帳を
交付します

病院から妊娠届出書をもったら、妊娠11週までに母子健康手帳の交付を受けましょう。指定の交付日には、講話および妊産婦医療費受給者証の手続きも併せて行います。交付日に都合が悪い人は問い合わせください。

■交付日 4月17日・24日(金)

■受付時間 午前9時30分～9時45分

■場所・問い合わせ 宮古保健センター

ハロー赤ちゃん教室
(母親教室)

■期日 5月7日(木)

■時間 午前9時45分受け付け開始、10時～正午

■内容 妊娠中の過ごし方、お産について

■対象 妊婦とその家族

■用意する物 母子健康手帳、副読本

■申込期限 5月1日(金)

■場所・申し込み 宮古保健センター

楽しく歩こう会宮古
ウォーキング交流会

浄土ヶ浜周辺コースを楽しくウォーキングしましょう。
※申し込み不要。小雨決行

■期日 4月25日(土)

■集合時間 午前9時

■集合場所 浄土ヶ浜第2駐車場

■参加料 200円（保険料）

■問い合わせ 市健康課成人保健担当（☎64-0111）

高齢者肺炎球菌予防接種・風しん予防接種（成人対象）の費用を助成

● 高齢者肺炎球菌予防接種費用の助成

■対象 次に該当する市民。ただし既に肺炎球菌予防接種を受けた人は費用助成を受けたかどうかにかかわらず対象になりません。

【予防接種法に基づく定期接種】ア平成28年3月31日時点で65・70・75・80・85・90・95・100歳の人（4月中旬に通知します）イ接種日時点で60歳以上65歳未満の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障害がある人、または免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある人（いずれも身体障害者手帳1級相当）

【市独自の一部助成】昭和25年4月1日以前に生まれ、上記アイに該当しない人

■接種期間（助成期間）平成28年3月31日まで

■助成額／回数 3千円／1回

■申請方法 ①下記医療機関に予約相談。②予診票を医療機関または各保健センター、市総合窓口課、各出張所で受け取り、必要事項を記入して、健康保険証とともに医療機関に提出。③「助成金を差し引いた金額」を医療機関に支払う。助成金を含んだ金額を支払った場合、払い戻しできません。

※市外で受ける場合は事前に手続きが必要ですので、問い合わせください

※生活保護世帯または世帯員全員が市民税非課税世帯の人は、8千円を限度として全額を1回助成します。医療機関窓口に必要なものを提示してください。

【生活保護世帯】休日・夜間受診手帳

【市民税非課税世帯】世帯員全員の「平成27年度課税証明書」※6月上旬から市税務課・総合窓口課・総合事務所・出張所で発行します（1件につき300円）

■問い合わせ 各保健センター

「肺炎球菌」について

70歳以上の重症肺炎の約50%が、肺炎球菌が原因とされています。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎の約80%に効果があり、免疫効果は5年間持続するとされています。

「風しん」について

免疫のない女性が妊娠中（特に妊娠初期）に風しんに感染すると、白内障、難聴、心疾患などを主な症状とする「先天性風しん症候群」の子どもが生まれる可能性があります。

● 風しん予防接種（成人対象）費用の助成

風しん抗体価検査（風しんの免疫を持っているかどうかを調べる検査）と風しん予防接種費用の全額を助成します。抗体価検査の結果、抗体価が低い場合に予防接種を受けられます。ただし過去に市の助成を受けた人は対象になりません。

※接種するワクチンはMRワクチン（麻疹風しん混合ワクチン）です

■接種期間（助成期間）平成28年3月31日まで

■対象 ア妊娠を希望している女性（妊娠中の人および妊娠している可能性がある人を除く）、イアのパートナー（婚姻関係は問わない）、ウ風しん抗体価が低い妊婦のパートナー（婚姻関係は問わない）

■助成額／回数 全額／1回

■申請方法 ①下表【風】で示した医療機関に相談の上、風しん抗体価検査を受けてください。なお健康保険証や運転免許証など住所が分かるもの、上記イウの場合は母子健康手帳をお持ちください。②検査の結果、抗体価が低い場合、接種を受けてください。

※接種後2カ月間は妊娠を避けてください

※市外で受けた場合は払い戻しますので、平成28年3月31日までに宮古保健センターに申請してください

■問い合わせ 宮古保健センター

予防接種を実施する医療機関	電話番号	予防接種を実施する医療機関	電話番号	予防接種を実施する医療機関	電話番号
三陸病院（板屋）【風】	62-7021	奥脳神経外科クリニック（保久田）	63-7222	林整形外科内科医院（西町）【風】	64-6400
宮古第一病院（保久田） ※入院中の人のみ	62-3737	金沢内科医院（磯鶏沖）	63-6611	松井産婦人科医院（新町）【風】	62-1617
宮古山口病院（山口） ※入院中の人のみ	62-3945	川原田小児科医院（小山田）【風】	64-4845	松井内科医院（新町）【風】 ※肺炎球菌予防接種は通院中の人のみ	63-8500
石川整形外科医院（大通）	62-6161	木沢医院（津軽石）【風】	67-2212	田老診療所（グリーンピア三陸みやこ内）【風】	87-5281
伊東産婦人科医院（田の神）【風】	64-4833	熊坂内科医院（和見町）	63-8123	新里診療所（茂市）【風】	72-2016
岩見神経内科医院（大通） ※通院中の人のみ	71-1500	後藤泌尿器科皮膚科医院（大通）【風】	62-3630	川井診療所（川井）【風】	76-2015
おおうち消化器科内科クリニック（館合町）【風】	71-1811	佐藤雅夫クリニック（保久田）【風】	64-7310		
おかだ外科内科クリニック（実田）【風】	71-2622	関根内科小児科（大通）	62-2360		
		豊島医院（和見町）【風】	71-1577		

【風】=風しん予防接種実施
※肺炎球菌予防接種は表の全医療機関で実施

■行事の内容など、詳しくは主催者にお問い合わせください

山口公民館

▼和のおもむき「こけ玉づくり」

●期日 4月30日・5月7日(木)
 ●時間 午後6時30分～8時30分
 ●場所 山口公民館 ●講師 撰待睦夫 ●定員 各回先着15人 ●参加料 2千円程度(材料代) ※当日徴収します ●用意する物 エプロン、せんでいばさみ ●申込開始日 4月16日(休)午前9時

▼やる気ツズくらぶ①く体験・実感! 震災後の宮古の「花見かき」ができるまで

●日時 5月16日(土)午前8時30分～午後0時30分 ●場所 宮古湾カキ産直「宮古うみのミルク」 ●内容 宮古の海や花見カキについての談話と体験 ●講師 山根幸伸 ●対象 小学生 ●定員 20人 ※応募者多数の場合は抽選 ●参加料 400円(材料代) ※当日徴収します ●用意する物 動きやすい服装、長靴、帽子、軍手、飲み物、雨具、タオル ●申し込み方法 往復はがきに住所・氏名・学校名・学年・電話番号を記入し、中央公民館やる気ツズくらぶ係(〒027・0091 築地一丁目3の9まで) ●申込期限 4月30日(木)消印有効

〈共通〉 ◎問い合わせ 山口公民館 (☎②3670)

フラットピアみやこ

▼ストレスマネジメント講座「ハッピーな毎日のために」

●期日 5月12日(火)、6月9日(火)、7月14日(火)、8月11日(火)、9月8日(火)(全5回) ●時間 午後7時～9時 ●内容 さまざまなストレスへの耐性を高め、セルフコントロールができる自分づくり、またストレスをパワーに変えるためのストレスマネジメントの方法を学ぶ ●定員 10人 ●参加料 無料 ●託児 無料 ※5月7日(木)までに要予約 ●場所 申し込み フラットピアみやこ (☎②2352)

まいたけ研究開発センター

▼まいたけ菌木の販売

●期間 4月27日(月)～5月15日(金) ※期間中は土日祝日も販売 ●時間 午前9時～午後4時 ●販売方法 1. まいたけ研究開発センター(夏屋6の5)で直接販売。事前申し込みは不要。 ※在庫が無くなり次第、終了 ●価格 10個4160円から ●問い合わせ 宮古市まいたけ研究開発センター (☎⑦2250)、川井総合事務所 (☎⑦2165)

県立水産科学館

▼収蔵資料展「造船と信仰」

●期間 4月25日(土)～5月24日(日)

●時間 午前9時～午後4時30分
 ●内容 船大工道具や造船の時に神事で使用した祭具など、木造船の造船に係る収蔵品を展示 ●入館料 一般300円、学生140円、高校生以下無料 ※20人以上は団体割引あり ●場所 問い合わせ 県立水産科学館 (☎③5353)

勤労青少年ホーム

▼エクササイズ教室「3カ月で理想のカラダを目指そう!」

●期間 5月12日～7月14日の毎週火曜日(全10回) ●時間 午後7時～8時30分 ●講師 横田紀子(宮古市体育協会指導員) ●定員 20人 ●参加料 1千円(傷害保険料含む) ●用意する物 運動靴

▼ベビータンダンス講座「母子の健康と産後のシェイプアップ」

●期日 5月14日・21日・28日(木)
 ●時間 午前10時30分～正午 ●講師 高橋佳奈(日本ベビータンダンス協会認定インストラクター) ●定員 親子15組(しつかり首が座った3カ月～1歳半くらいの子どもとその保護者) ※妊娠中の人は参加不可 ●参加料 500円(傷害保険料含む) ●用意する物 抱っこヒモ、体温計

〈共通〉 ◎対象 申し込み多数の場合、35歳未満優先 ◎用意する物 飲み物、汗ふきタオル、動きやすい服装 ◎場所 申し込み 勤労青少年ホーム (☎②7712)

シートピアなど

▼なあとフリーマーケット

●日時 5月17日(日)午前10時～午後2時 ●内容 日用品や雑貨などのフリーマーケット ●定員 先着20区画 ●参加料 1区画500円 ●申込開始日 4月21日(火)午前10時 ●場所 申し込み シートピア など (☎⑦3100)

開催・募集など

▼いわて就職ガイダンスI

●日時 4月19日(日)午後1時～4時30分(受付は正午から) ●場所 岩手産業文化センターアピオ ●内容 参加企業との面談、各種就職相談など ●対象 県内への就職を希望する平成28年3月卒業予定の学生(高校生除く)、既卒者 ●問い合わせ ふるさといわて定住財団 (☎019・653・8976)

▼浄土ヶ浜ビジターセンターの催し

☆浄土ヶ浜自然観察会「春」く春のお花に大接近! ●日時 4月25日(土)午前10時～正午(受け付けは9時45分から) ※荒天時は26日(日)に延期 ●集合場所 浄土ヶ浜ビジターセンター ●内容 春に咲く植物の観察 ●定員 15人 ●参加料 100円(保険料

込み）
☆春めぐりく姉ヶ崎の春を楽しもう！
●日時 5月5日(火)午前10時～午後1時(受け付けは9時45分から)
※荒天時は6日(水)に延期 ●集合場所 姉ヶ崎フィールドハウス ●内容 自然散策 ●定員 20人 ●参加料 中学生以上700円、小学生以下500円(昼食、保険料込み) <共通> ◎対象 小学生以下は保護者同伴 ◎用意する物 歩きやすい服装、飲み物 ◎申し込み方法 電話またはインフォメーションでの受け付け ◎申込期限 開催日の前日午後5時まで ◎申し込み 浄土ヶ浜ビクターセンター(☎651690)

▼高座 八法亭みややこの憲法嘯
●日時 4月25日(土)午後2時～4時 ※開場は1時30分 ●場所 市民文化会館中ホール ●入場料 無料 ※整理券は生協各店舗 ●問い合わせ 同実行委事務局(☎631346)

▼花見カキ列車
田老駅ホームで花見カキを焼いて提供します。また新お座敷車両「さんりくはまかせ」に乗って宮古から田野畑を往復します。(車内では弁当、飲み物を用意します)
●期日 4月28日(火) ●時間 午後

6時～8時50分 ●集合(解散)場所 三陸鉄道宮古駅 ●定員 先着40人 ●参加料 4000円 ●申込期限 4月24日(金) ●申し込み 三陸鉄道(☎8900)

▼第7回宮古復興チャリティー歌謡祭
●日時 5月5日(火)正午 ●場所 宮古駅前イベント広場 ●出演 いずみしん、堀トオルと歌仲間たち ※お餅まきもあり ●問い合わせ 宮古音楽スクール協会(☎637838)

▼手話ボランティア(手話奉仕員)養成講座
●期日 5月7日～平成28年3月17日までの毎週木曜日(全43回) ●時間 午後6時30分～8時 ●場所 総合福祉センター ●内容 手話の基礎から始め、簡単な会話ができるようになることを目標とした講座 ●受講料 無料(テキスト代3240円は実費負担) ●申込期限 4月28日(火) ●申し込み 宮古市身体障害者福祉センター(☎7333)

▼あとリ芸芸向上支援協会の催し ☆シニア&初心者のためのパソコン個別講習会
●期日 5月の毎週金曜日 ●時間 午前10時～午後5時 ●場所 山口公民館 ●内容 シニアや初心者向けのパソコンの基礎的な使い方

を学ぶ ●定員 各6人程度(1人約50分) ●参加料 1500円(資料代) ●用意する物 筆記用具、ノートパソコン(Windows7以上搭載、無くて可)
☆不登校・ひきこもり無料個別相談会
●期日 5月の毎週土曜日 ●時間 午前11時～午後7時 ●場所 あととりカレッジ ●内容 不登校や引きこもり状態にある当事者やご家族の悩みに、ひきこもり相談士が応対 ●定員 各日8人程度(1人約40分) ●参加料 無料 <共通> ◎申込期限 各開催日の前日まで ◎申し込み あとリ芸芸向上支援協会(☎090・3984・5008、info@atorisociety.com)

▼隊友会宮古支部・海の日宮古港カッターレース参加者募集
●練習期間 6月1日(月)～7月18日(土)(予定) ●対象 レースに参加してみたい男女 ※初心者歓迎 ●申込期限 5月10日(日) ●申し込み 隊友会宮古支部・盛合(☎090・8925・0999) ※午後6時以降

▼全日本空手道連盟「和道会」団員募集
和道会宮古支部(一般)と和道会宮古空手スポーツ少年団(小学生)のメンバーを募集します。

●活動日/場所 毎週月曜日/花輪小学校体育館、水曜日/千徳小学校体育館、金曜日/千徳地区体育館 ●時間 午後7時～9時 ●申し込み 和道会宮古空手スポーツ少年団・城内(☎090・4049・3588)

▼バドミントンスイートピー募集
●活動日時 毎週火・木曜日 午前10時～正午 ●場所 千徳体育館 ●問い合わせ 川口(☎633866)

▼「宮古吹奏楽団」団員募集
●活動日時 毎週水・土曜日 午後7時～9時 ●場所 響楽堂(八木沢) ●対象/会費(月額) 一般/1500円、大学生/各種学校生/高校生/中学生/500円 ●問い合わせ 小野寺(☎635726)

▼「フォロワーウィズ」団員募集
ビッグバンドジャズの演奏を一緒に楽しむ仲間を募集していません。
●活動日時 毎週火曜日 午後7時～9時 ●場所 響楽堂(八木沢) ●会費(月額) 1000円 ●問い合わせ 川崎(☎090・2275・9597)

▼写真クラブ「みやこフォトクラブ」会員募集
●活動日時 偶数月の第4水曜日 午後6時30分～8時30分 ※初心者、ベテラン歓迎 ●場所 千徳地区公民館 ●武藤(☎636186)

住宅再建のための「住まいの相談会」を開催します
市生活課被災者支援室

住宅（自宅）の再建に関する相談に、県・市の行政機関、住宅金融支援機構、建築士、ファイナンシャル・プランナー（生活設計についての相談）、弁護士（住宅契約関係）が対応します。相談は無料です。

■期日 4月19日(日)

■対象 被災後、住まいの再建を検討している方

【午前の部】

■場所 市役所6階大ホール

■時間／内容 【説明会】午前10時～10時50分／公的支援制度について（県建築住宅課）、災害復興住宅融資について（住宅金融支援機構）、ライフプランづくりのすすめ（県復興局生活再建課）【相談会】10時50分～午後0時30分／

個別相談

【午後の部】

■場所 河南仮設住宅集会所

■時間／内容 午後2時～4時／個別相談

<共通> ■問い合わせ 市生活課被災者支援室 ☎68-9109

福祉のしごと「定期出張相談会」を開催しています
岩手県福祉人材センター

■場所／開催日時 ①ジョブカフェ宮古（キャトル5階）／毎週火曜日午後1時～3時。②フラットピアみやこ／毎月第3木曜日／午後1時～3時。③総合福祉センター／平日午前9時～午後5時に専用電話（下記番号）で受付。

■対象 福祉の職場に関心のある人や就労を希望する人

■問い合わせ 岩手県福祉人材センターキャリア支援員・館洞 ☎080-8201-0199

図書館からのお知らせ 市立図書館（☎62-2414）、田老分室（☎87-2976）、新里分室（☎72-2019）、川井分室（☎76-2167）

■休館日（市立図書館、各分室） 月曜日

■開館時間 午前9時～午後5時 ※本館のみ水～土曜日は午後7時まで

移動図書館車「なぎさ号（宮古地域）」運行日程

期日	場所	駐車時間	期日	場所	駐車時間
4月22日	旧愛宕小学校仮設住宅	10:00～10:40	4月15日	長根・東北電力宮古アパート前	9:50～10:20
5月20日(水)	愛宕公園仮設住宅	11:00～11:30		近内消防屯所前	10:30～10:50
	田鎖公民館前	13:40～14:00	5月13日(水)	太田・県職員千徳宿舍前	11:00～11:20
	花輪農村文化伝承館前	14:10～14:30		日の出町・市営住宅1号棟前	13:40～14:10
	松山荘前	14:45～15:30		佐原地区センター前	14:25～14:55
				佐原・市営住宅前	15:00～15:30
4月23日	宮園団地(宮園自治会センター前)	11:00～11:30	4月16日	上村地区会館付近	9:50～10:20
5月21日(木)	ジョイス駐車場	13:30～14:15	5月30日	磯鶏駅前	10:30～11:00
	根市・雲南沢入口	14:30～14:50	5月14日(木)	三社タクシー磯鶏営業所付近	11:10～11:40
	花原市・華厳院前	15:00～15:20		高浜・ファミリーマート村上店前	13:50～14:10
4月24日	藤の川・上野商店付近	10:30～10:50	4月17日	津軽石・藤畑公民館前	14:30～14:45
5月8日(金)	国土交通省官舎前	11:00～11:30	5月1日(金)	津軽石・清寿荘前	14:55～15:40
	長根・青猿神社付近	13:40～14:00	4月17日	津軽石駅前	10:00～10:30
	近内災害公営住宅	14:15～14:35	5月1日(金)	津軽石学童の家前	10:40～11:00
	西ヶ丘二丁目県営住宅駐車場	14:50～15:40		津軽石・新町公民館付近	11:10～11:40
4月25日	赤前小学校仮設住宅	10:50～11:30	4月18日	八木沢・市営住宅駐車場	13:30～13:45
5月9日(土)	重茂・里消防屯所前	13:30～14:00	5月15日(金)	八木沢・元ショッピング駐車場	13:55～14:10
	重茂・河原商店付近	14:15～14:35	4月18日	藤原・公書試験室前	14:25～14:40
	小角柄・佐々木商店付近	14:50～15:10	5月2日(土)	西ヶ丘・生協前	10:00～10:30
				西ヶ丘(にしがおか公園付近)	10:45～11:40
				崎山・マルイ舗装駐車場	13:40～14:00
				崎山中学校東側駐車場	14:10～14:30
				女遊戸・前川酒店前	14:45～15:05
				赤坂ヘリポート	15:20～15:40

おめでたおくやみ

3/16～3/31 (届け出順・敬称略)

生まれた赤ちゃん

- 武田樹季(いつき) 小沢二丁目(幸弘)
- 盛合まひろ 新町(靖章)
- 鈴木善士(よしと) 上村二丁目(淳一)
- 船越奏那(そな) 金浜1(惇史)
- 新田結依(ゆい) 磯鶏石崎(将人)
- 熊谷妃桜(さくら) 藤の川(祐太)
- 滝田晴梧(せいご) 茂市(吉史)
- 中嶋 魁(かい) 駒形通(繁規)
- ベイカー慈央(じょう) 花輪三(デイビット ベイカー)
- 木村幸愛(さな) 刈屋(克也)
- 立花輝希(らいき) 小国(淳)
- 立花輝夢(らいむ) 小国(淳)
- 田鎖颯大(そうた) 宮町一丁目(貴雄)
- 大手一華(いちか) 太田二丁目(賢一)

♡結婚したお二人♡

- 中道史典・田中 香 = 里
- 佐藤佑哉・野崎綾子 = 西町二丁目
- 大森隆義・岩田美由紀 = 小角柄
- 浅倉 祥・茶畑ひろみ = 磯鶏

■亡くなった方■

- 坂本隆男 (87) 磯鶏西
- 菅原テルミ (75) 泉町
- 館石 武 (85) 墓目
- 巖岩イシ (82) 根市
- 盛合幸子 (66) 佐原四丁目
- 濱田 勲 (73) 白浜
- 小坂 登 (57) 白杵
- 三河 清 (80) 小山田四丁目
- 小松キクエ (89) 箱石(崎山)
- 南館 司 (63) 長根四丁目
- 佐々木キイ子 (88) 古里
- 佐々木トシ (99) 近内上
- 山本ヤスノ (92) 小堀内
- 大上好孝 (94) 築地二丁目
- 伊藤幸子 (82) 墓目
- 木村ハツノ (92) 塚町
- 城内武治 (96) 花輪二
- 畠山松代 (84) 摺待
- 大久保徳雄 (83) 松山
- 在原哲雄 (101) 牛伏
- 澤口幸雄 (73) 千徳町
- 藤井トミ (98) 熊野町
- 小野寺ヒナ (86) 長町一丁目
- 三浦禮子 (80) 鎌ヶ崎下町
- 眞石則子 (64) 館下
- 上田久エ (76) 日立浜町
- 小成クニ (95) 長根三丁目
- 小野寺 徹 (47) 日の出町
- 吉田敬子 (69) 西ヶ丘二丁目
- 奥山ハツ (84) 熊野町
- 竹山 一 (79) 西ヶ丘三丁目
- 山根兼松 (88) 赤前中乙
- 江釣子シマ (97) 上村一丁目
- 佐々木イサ (85) 神田沢町
- 藤澤トヨサ (89) 刈屋

※届け出の際、広報への掲載を希望した場合に載せています

お知らせ

information

宮古市役所 ☎62-2111
 田老総合事務所 ☎87-2111
 新里総合事務所 ☎72-2111
 川井総合事務所 ☎76-2111

重茂半島線に関する都市計画案の説明会および縦覧を実施します

県庁都市計画課ほか

重茂半島線を都市計画道路として決定する都市計画案について説明会を開催し、案の縦覧を実施します。

●都市計画案の内容

宮古都市計画道路3・7・24号津軽石音部線の決定

●説明会

■日時 4月23日(木)午後6時30分

■場所 赤前小学校体育館

●都市計画案の縦覧

■期間 5月12日(火)～26日(火)

※土日は除く

■時間 午前8時30分～午後5時15分

■場所 県庁都市計画課、沿岸広域振興局宮古土木センター、市都市計画課

●意見書の提出

計画案について、縦覧期間満了の日までに県知事あてに意見書を提出できます。住所・氏名・電話

人口と世帯

(4月1日現在)
 人口 56,331人(-296人)
 男 27,017人(-159人)
 女 29,314人(-137人)
 世帯 24,158 (-74)
 () 内は前月との比較

人口のうごき

(3月1日～31日)
 出生 28人
 死亡 73人
 転入 324人
 転出 575人

交通事故

(3月1日～31日)
 人身事故 8件
 死亡者 1人
 負傷者 11人
 物損事故 118件

番号・意見を書いて、県庁都市計画課(〒020-8570盛岡市内丸10-1)に郵送(5月26日消印有効)、または持参してください。

<共通>

■問い合わせ 県庁都市計画課計画整備担当(☎019-629-5889)、沿岸広域振興局宮古土木センター道路整備課(☎64-2221)、市都市計画課計画担当(☎68-9108)

事業用被災資産の復旧費補助制度をご活用ください

市商業観光課

被災した市内の事業者の事業再開を支援します。各種要件がありますので、事前に問い合わせください。

■対象 市内の店舗・工場・事務所などの復旧を行う中小企業者。個人事業者の場合は市内に住所を有する人。

※事業再開後、3年以内に被災時の従業員数を回復することが条件
 ※過去に同様の補助を受けた人は対象外

■対象経費 事業再開に必要な被災資産の新築・購入または修繕に要する経費(100万円以上)※新築・購入費と修繕費のどちらか一方のみが対象

■補助率 対象経費の2分の1以内(補助上限あり)

■申請期限 10月30日(金)

■問い合わせ 市商業観光課商業担当(☎68-9090)

献血にご協力を～広げよう、献血の輪～

市生活課

16歳から69歳までの健康な人は、どなたでも献血できます(65歳以上の人は、60～64歳までに献血経験がある人に限ります)。

ご協力いただいた血液は、県内の医療機関で使用されます。

■期日 4月22日(水)

■時間/場所 ①午前10時45分～午後1時/宮古警察署(神林)、

②2時30分～4時30分/県立宮古病院(崎嶽ヶ崎)

■問い合わせ 市生活課市民協働・男女共同参画担当(☎68-9080)

宮古市農業委員会委員選挙立候補予定者説明会を開催

市選挙管理委員会

立候補届出の手続きなどに関する説明会を開催します。立候補を予定している人、またはその代理人はご出席ください。

■日時 4月21日(火)午後1時30分

■場所 市役所6階大ホール

■用意する物 立候補届出に必要な書類を交付しますので印鑑をご持参ください。※参加できる人数は、1候補者につき2人(立候補予定者を含む)まで

■問い合わせ 市選挙管理委員会(☎68-9123)

5月16日～22日

春の大掃除を実施します

春の大掃除を5月16日(土)～22日(金)に実施します。町内会・自治会での側溝清掃やごみ拾いなどの作業は協力して行いましょう。

●側溝清掃は5月18日まで

側溝から上げられた堆積物は、市の委託業者が19日(火)と20日(水)に運搬します。側溝清掃は18日(月)までに完了させ、上げた堆積物は必ず土のう袋に入れてください。

●側溝堆積物以外のごみは分別し

■問い合わせ 市環境課環境保全担当(☎68-9078)

て連絡を

市の委託業者は側溝堆積物だけを運搬しますので、草刈り、ごみ拾いなどで生じたごみ(燃やせるごみ、燃やせないごみ、ビン、缶に分別)の運搬が必要な場合は、市きれいなまち推進室(☎64-6488)に連絡してください。

消火栓の水を使う町内は、消防署(☎62-5533)の許可を受けてください。

宮古港開港400周年



市ホームページ内に、宮古港開港400周年事業のポータルサイトがオープンしました！

「開港時代行列」パレード運行ルート

■問い合わせ 市産業支援センター港湾振興室 (☎68-9093)



【りあす亭】

10:30～12:00 大澤信子社中によるお琴演奏
※ひつまみ汁お振る舞いもあります(先着400人)
■問い合わせ=昭和通りのおかみさんもてなしたい・松原 (☎62-3632)

【市役所前】

10:45～10:55 花輪鹿子踊りによるお出迎え
11:00～ お出迎え式

【岩手銀行宮古中央支店前】

10:00～10:10 「ミスさんさ」も参加しての盛岡さんさ踊り披露
10:10～10:20 開港時代行列出発宣言

【末広町商店街内】

10:20～10:30 パレード参加者による「紅白餅まき」



■日時= 4月24日(金)午前10時出発 ■内容= 400年前の時代を模した衣装で約100人が練り歩きます。行列には南部家第46代当主南部利文さんをはじめ、南部藩ゆかりの盛岡、遠野、二戸、八戸の各市長も参加。また馬3騎も参加します。さらに盛岡さんさと花輪鹿子踊りが参加して盛り上げます。

※当日は岩手銀行宮古中央支店前からの末広町商店街が午前10時～11時に全面通行止めになるほか、近接した市内道路が一部通行止めになります。ご理解・ご協力をお願いします

あかり & すむすむの なぜ?なに? 再生可能エネルギープロジェクト

■問い合わせ 市環境課自然エネルギー推進室 (市役所3階、☎68-9079)

～あかりレポート～
カーシェアリングの
新しい取り組み



あかり 「宮古エコカーシェアリング株式会社の佐々木 司さんにお話を伺います。カーシェアリングが始まって1年が経ちましたが、どのような人が利用していますか？」

佐々木さん 「仕事や観光など、市外の皆さんに多く使っていただいています。15分単位の短時間で借りられることや、プラグインハイブリッド (PHV) 車が環境にやさしいことなどが好評です。一方、市内の利用者からは、もっと小型の車を、自宅に近いところで借りられるようになってほしいといった声も聞かれました」

あかり 「これからはどのようなことに取り組んでいきますか？」

佐々木さん 「市民の皆さんに利用しやすいカーシェアリングを目指したいです。先ほどの声に応え、小型の電気自動車 (EV) を3台導入し、

比較的住宅が多い和見町にステーション (車を借りられる場所) を置きます」

あかり 「ステーションは宮古駅前、大通二丁目、市役所に続いて4カ所目になりますね！」

佐々木さん 「他にも便利な使い方として『ワンウェイ方式』の検討をしています。借りたステーション以外のステーションに返却できるシステムです。今年中に試験的に始めたいと考えていますので、ご期待ください」

※カーシェアリングについての問い合わせは、宮古エコカーシェアリング株式会社(大通四丁目5-3、☎63-7300、FAX64-1127、✉info@miyako-ecocar.com、🌐http://miyako-ecocar.com)まで。ウェブサイトで見られる小田代直子さん出演の紹介動画もどうぞご覧ください！



和見町にステーションが新設されます
小型車も新たに導入！